様式３(2020.08改)

作成日　令和2年10月9日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375300262
事業所名	グループホーム　はなえくぼ扶桑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	コロナ禍の中、以前のような外出や交流の機会もなくなり、現在は、コロナ収束後の活動について思いを巡らせている。以前の活発な取り組みが再会できるように、関係構築のあるレクリエーションボランティアの方々と連絡を取り合っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	1月までは会議を開催できたが、3月以降は書面開催に切り替えている。メンバーに事前に資料を送付し、意見をもらい、回答するという流れで議事録を作成している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	町の担当者、地域包括支援センター職員が運営推進会議に参加し、ホームの実情を伝えながら、様々に連携を図ってきた。現在も書面開催でホームの実情を伝えている。コロナ禍により、町や地域包括支援センター主催の研修会・勉強会も全て中止になり、電話での報告・相談に留まっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	従来は、運営推進会議参加、ホーム行事参加、面会時等に直接意見の聞き取りを行ってきた。忌憚のない意見表出や、ホーム運営に関する提案等を聞き取り、共にホームを盛り上げる雰囲気があった。現在は、コロナ禍により、直接会話をすることもなくなり、電話や文書での意見聞き取りになっている。コロナ禍当初、利用者への面会制限についても、文書で通達し、理解を得ている。現在の面会制限についても、家族の様々な意見を参考にしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

1月までは会議を開催できたが、コロナウイルス感染症の感染拡大を懸念し、行政と話し合った結果、3月以降は書面開催に切り替えている。メンバーに事前に資料を送付し、意見をもらい、回答するという流れで議事録を作成している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										